

船舶事故調査報告書

平成24年3月15日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 石 川 敏 行
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成23年2月8日 05時00分ごろ～09時55分ごろの間）
発生場所	不明（長崎県南島原市口之津町天狗鼻沖～同町土平崎の南方約1,000m付近の早崎瀬戸の間）
事故調査の経過	平成23年2月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が行方不明のため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 海光丸、0.6トン NS3-48916（漁船登録番号）、個人所有 5.40m(Lr)×1.55m×0.65m、FRP ガソリン機関（船外機）、30kW（漁船法馬力数）、昭和59年6月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 55歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和59年6月14日 免許証交付日 平成20年6月2日 (平成25年6月1日まで有効)
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、口之津町口之津港を出港し、前日に入れたさし網を引き揚げるために天狗鼻沖に向かった。 本船は、平成23年2月8日09時55分ごろ、土平崎の南方約1,000m付近の早崎瀬戸において、無人で漂流中のところを地元漁業者によって発見され、口之津港へえい航された。 海上保安庁、僚船等は、船長の捜索を行ったが、発見することができなかった。 船長は、本事故後、行方不明のままである。
気象・海象	気象：口之津地域気象観測所における2月8日の気象観測値 05:00 風向 東、風速 1.9m/s、気温 6.9℃、降水量 0 06:00 風向 北、風速 1.8m/s、気温 6.8℃、降水量 0 07:00 風向 東、風速 2.8m/s、気温 7.8℃、降水量 0 08:00 風向 南東、風速 1.7m/s、気温 8.0℃、降水量 0 09:00 風向 北北西、風速 0.5m/s、気温 8.9℃、降水量 0 海象：海上 少し時化の状態

	<p>潮流（早崎瀬戸）</p> <p>2月8日00時～06時 西流（西流最強約5ノット（kn））</p> <p>06時～12時 東流（東流最強約5kn）</p>	
その他の事項	<p>船長は、平成23年2月8日03時00分ごろ自宅を出たのち、自転車で自宅から約500～600mの口之津港内の本船の係船場所へ向かった。</p> <p>船長は、ふだん自宅からさし網を入れていた漁場に到着するのに約30分を要し、また、さし網を引き揚げるのに約1時間30分を要していた。</p> <p>本船には、操舵室がなく、船尾に船外機が装備されていた。</p> <p>本船は、船外機がチルトアップされた状態で発見され、船外機のクラッチが入っており、本船のさし網が船内に引き揚げられていたものの、さし網に取り付けていた浮子のロープがチルトアップされて海面上に出た状態のプロペラに巻き付いていた。また、本船の船体に衝突痕はなかった。</p> <p>地元漁業者は、船外機のプロペラにロープ等が絡まった場合、船外機をチルトアップしてプロペラを海面上に出し、船尾から身体を乗り出して絡まったロープ等を取り除いていた。</p> <p>船長は、^{かっぱ}合羽上下と長靴を着用し、魚倉内に救命胴衣を格納していたが、救命胴衣は着用していなかった。</p> <p>船長は、本事故当日、漁業協同組合の仕事があり、08時には自家用車で自宅を出て長崎市内へ出掛ける予定であった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、落水して行方不明となった。</p> <p>本船は、03時30分ごろさし網を入れていた天狗鼻沖の漁場に到着して揚網を開始したが、さし網が船内に揚収され、船外機に絡まっていたことから、揚網を終えかけた05時00分ごろ船外機のプロペラにさし網のロープが絡まった可能性があると考えられ、その後、09時55分ごろ土平崎南方沖において無人で漂流しているところを発見されたことから、05時00分ごろから09時55分ごろの間において、船長が落水した可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、船外機がチルトアップされた状態で発見され、船外機のクラッチが入っており、プロペラにさし網のロープが絡んでいたことから、船長は、プロペラに絡まったロープの除去作業を行っていたときに落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、天狗鼻沖において、船外機のプロペラに絡まったロープの除去作業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	

参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 漁ろう作業中は、救命胴衣を着用すること。
----	--